



広報

No.298

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成8年10月末現在)

世帯数	9,728世帯
人口	30,204人
男	15,363人
女	14,841人

10月の人口移動

出生 40件	死亡 8件
転入 110件	転出 102件
婚姻 13件	離婚 8件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



として保存すると便利です

兼久が第1回本島縦断駅伝大会を開催

兼久自治会(玉井正幸会長)では、11月17日、第1回本島縦断駅伝大会を開催しました。

1区の走者辺土名勝さんが、午前6時に本島最北端の辺戸岬を出発、辺戸岬から兼久公民館までの120キロメートル余りを40名の走者が走り継ぎ、9時間57分かけて最終走者の玉井正幸さんがゴールしました。

これは、9月22日に行われた第17回町民陸上競技大会で、同区がはじめて『男女総合』、『夏季総合』、『総合』の3冠を制したことを記念に、より会員の親睦と団結を図ろうと企画されたもの。

駅伝後には、ゴール地点となった兼区公民館で懇親会を開き、今後のさらなる自治会活動の活性化に向けて意気盛んでした。

また、雨がちらつく中、沿道では青年会による力強いエイサーが演奏され、道行く人やドライバーたちの目をひくなど駅伝大会に華を添えていました。

今月の主な内容

- 町社協が法人化20周年
- 今月の人
—新川盛峯・千代子夫妻—
- 町立坂田小学校が創立50周年
- 町史だより—No.16—西原の方言
- お知らせでーびる

二十歳、みなさんのおかげです

―町社会福祉協議会法人化二十周年記念を祝う―

町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)では、十一月五日午後、町中央公民館で、法人化二十周年記念式典及び祝賀会を開催しました。

同協議会は、昭和三十四年(一九五九年)社会福祉協議会として設置され、「赤い羽根共同募金」や「歳末助け合い運動」などの社会福祉事業を推進し、昭和五十一年十一月五日に社会福祉法人として認可されました。昭和五十四年の町制施行と同時に「社会福祉センター」が完成、社会福祉活動の拠点として地域福祉活動が活発に展開されてきました。

式辞の中で、宮平会長は「十一月一日には、町ボランティア連絡会(町ボラ連)の活動拠点となるボランティアセンターも開所し、地域福祉活動のより一層の推進が期待できます。町社協としても、

今後はより密度の濃い地域福祉が求められる時代となるので、町ボラ連や町行政とより一層連携を深めていきたい」とあいさつしました。

法人化二十周年記念式典には、翁長正貞町長をはじめ、富春治町議会議長、大城県生活福祉部長、儀間県社会福祉協議会副会長など関係者約二百人が参加、町社会福祉協議会の法人化二十周年を祝いました。

また、福祉活動やボランティア活動など西原町の社会福祉の向上に貢献したとして七人三団体へ表彰状、三団体へ感謝状の贈呈が行われました。

式典に引き続き祝賀会が行われ、踊りなどの余興で町社協の二十周年を祝いました。

なお、表彰・感謝状の被表彰者は次の通り(敬称略、(一)内は受賞内容)。

《表彰》 七人 三団体

▽新川千代子(レク指導活動)
▽城間商店(城間芳、在宅福祉サービス)▽城間千代子(社会奉仕活動)▽仲松民子(社会奉仕活動)▽比嘉千代(社会奉仕活動)▽大城繁(福祉業務)▽宮平吉太郎(社会福祉活動)▽棚原老人クラブ(会長・城間正雄、友愛訪問)▽幸地老人クラブ(会長・佐久川松枝、友愛訪問)▽J.A.サンライズ女性部

西原支部(部長・城間富子、社会福祉事業協力)
《感謝》三団体
▽金秀グループ(会長・呉屋秀信、社会福祉事業援助)▽

西原町商工会(会長・呉屋定子、社会福祉事業援助)▽西原ライオンズクラブ(会長・砂川守之丞、社会福祉事業援助)

ボランティアセンターが開所

町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)では、このたび西原町ボランティアセンター(与那城135番地、町社会福祉センター内)を設置、その開所式が11月1日午後、町ボランティア連絡会(町ボラ連、座波進会長)の会員や構成団体代表者ら関係者20名が参加して同センターで行われました。

ボランティアセンターは、町内のボランティア団体や個人らが参加して平成7年12月16日に結成された町ボラ連の活動の拠点となるもので、関係者から同センターの設置が熱望されていました。

開所式では、福祉関係者らが見守る中、宮平会長、座波町ボラ連会長、翁長正貞町長の3人がテープカットし、ボランティアセンターの船出を祝いました。

式辞の中で宮平会長は「同センターは、ボランティア活動や団体運営に関する情報交換、ボランティアの登録や組織化の推進など、住民の福祉ニーズに応える町ボラ連の幅広い活動を支えていく拠点として期待されています」と述べました。これを受けて座波町ボラ連会長は「町ボラ連の活動拠点となるセンターができ、今後は町ボラ連の会員や社会福祉協議会、行政とも連携・協力して住民福祉の向上に努力していきたい」とあいさつしました。

また、翁長町長が同センターの設置を祝う来賓祝辞を述べました。

なお、同センターの連絡先および問い合わせ先は次の通り。

西原町社会福祉協議会内/西原町ボランティアセンター

☎098-945-3651

【ボランティア・コーディネーター 小波津 周平】



△「西原町ボランティアセンター」の看板を掲げる座波町ボラ連会長(左)と宮平社協会長(右)

12月の心配ごと相談所開設日(4日、11日、18日、25日の毎週水曜日、午後2時～5時、)
町社会福祉センター内 心配ごと相談室 ☎945-3651

友愛(YOU&I)の心を今ひとつに

—町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会が答申—

『西原町社会福祉協議会地域福祉活動計画』策定委員会(委員長・神里博武・沖縄キリスト教短期大学教授)は、十一月十三日午後、宮平吉太郎町社会協会長に対し、同計画の答申を行いました。

『西原町社会福祉協議会地域福祉活動計画』は、住民参加の「福祉のまちづくり」を実現するための地域福祉活動の指針・実行計画となるもので、「五つの基本目標」、五つの基本目標達成のための必要事項をまとめた「基本計画」、

基本計画を具体的にを行うために各種事業を設定、その推進に向けて各事業ごとに対象者や実施時期、事業主体、財源などを盛り込んだ「実施計画」から構成されています。実施期間は、平成九年度から平成十五年度までの七年間(前期・平成九年度・十一年度と後期・十二年度・十五年度)となっています。

町社協では同計画の策定に向けて、平成七年六月に策定委員会を設置しました。策定委員会では、当事者団体、民生委員児童委員協議会、自治会、婦人会、農協、商工会、福祉関連行政機関等で構成された①「地域福祉部会」、②「児童福祉部会」、③「老人福祉部会」、④「障害児者福祉部会」の四つの部会を設け、審議を重ねてきました。そして、各部会から出された現状と課題・対策に町社協事業の見直しを含め、五つの基本目標「知ろう・知らせよう」、「学

び・育てよう」、「みんなで支え合おう」、「必要なサービスをつくろう」、「民間福祉活動の基盤を強化しよう」を掲げ、それぞれの基本目標達成のための要点と実施のための基本計画をまとめました。さらに、基本計画を具体的にを行うために各種事業を明記、その推進に向けて、事業対象者や実施

時期、事業主体、財源などを盛り込んだ実施計画を設定、『西原町社会福祉協議会地域福祉活動計画』としてまとめ、この日の答申となりました。神里委員長は、同計画策定までの経過説明を行った後、答申を行い、「状況やニーズに対応できる地域福祉の推進が、この計画のねらいです。毎年、この計画の推進を総合的に評価し、見直ししながら進めて行くことでより実効性のあるものにしていただきたい」とあ

いさつしました。これに対し宮平会長は「計画の実現にあり、町社協、福祉団体、福祉施設、行政等の連携により町民の協力、参加を得ながら西原町の福祉推進に努めます」と述べました。町社協では、来年度からの計画実施に向けて体制づくりを進めています。なお、同計画についての問い合わせ等は町社会福祉協議会 宮平悟 〆九四五―三六五―まで。



△神里委員長(左)から宮平会長(右)へ『西原町社会福祉協議会地域福祉活動計画』が答申された。

今月の人



△夫婦そろって喜びの受章(賞)となった新川盛峯・千代子さん夫妻。

祝 夫婦そろって喜びの受章 —新川盛峯・千代子さん夫妻— (内間123番地)

「今の自分たちがあるのは、支えてくれた町民をはじめとするみなさんのおかげです」と、11月16日午後、新川盛峯(せいほう)・千代子さん夫妻(内間123番地)が、町役場を訪れ、よろこびの報告を行いました。

これは、盛峯さん(63歳)が、このたび行われた秋の叙勲で、勲7等青色桐葉章(くんななとうせいしょくとうようしょう)を受章、その後、夫人の千代子さん(61歳)も日本顕彰会の「社会貢献者表彰」を受賞と、夫婦そろって受章(賞)したことから、それぞれ授章式へ出席し、その報告をかねてのもの。

盛峯さんは、長年にわたり琉球政府の主席や県知事の運転手を務めた功績が地方自治功勞として認められ、千代子さんは、ボランティアで、町内外の子どもたちからお年寄りまで、幅広い年代に長年にわたりレクリエーションや踊りを指導した功績を認められ、このたびの受章(賞)となりました。

12月7日・8日 生涯学習フェスティバル
(町中央公民館)

12/6(金) 18:30~21:30、前夜祭ダンスパーティー
12/7(土) 展示10:00~17:00、講演会13:30~15:00
舞台16:00~18:00、喫茶コーナー11:00~17:00
12/8(日) 展示10:00~17:00、舞台14:00~16:00
喫茶コーナー11:00~17:00

創立50周年 記念式典 祝賀会

五十周年記念に壁画を除幕

全児童で「坂田の金太郎ダンス」を披露

創立五十周年を迎えた坂田小学校(宮里憲幸校長)は、十一月十五日と十六日の二日間にわたり、同校で、記念式典(児童の部、一般の部)、記念学芸会、除幕式、祝賀会を開催、児童や父母、同窓生ら約一五〇〇人が参加して五十一年の節目を祝いました。

十五日は、記念式典・児童の部を開催し、各学年代表児童による「五十周年を迎えて」の意見発表、児童への記念品贈呈及び表彰などが行われました。

十六日は、記念学芸会、除幕式、記念式典・一般の部が開催されました。「大きく美しく 豊かに表現しよう」をねらいに開催された創立五十周年記念学芸会では、各学年

の児童が元気いっぱい合唱や合奏、劇、ダンスなどを披露しました。

グラウンドで行われた除幕式では、音楽部のファンファールに合わせ、校舎の壁いづばいに描かれた同校の目標である『つよい子 かしい子 やさしい子』の文字、マスケットの『坂田の金太郎』と男の子と女の子のイラストが除幕されました。マスケット

トの『坂田の金太郎』は、同校六年の安次富裕亮君と与那嶺友剛君がデザインしました。また、五十周年を記念



△平安期成会長(右)から宮里校長(中央)へ記念事業目録が贈呈された。

して今年創作された金太郎ダンスを全児童で披露しました。「金太郎」は、強く賢く優しい元気な子になろうと創立三十周年のときから同校のシンボルとなっています。

引き続き体育館を会場に、

記念式典・一般の部が行われ、五十周年記念事業期成会事務局長・大湾栄教頭から事業経過報告、平安恒政期成会長と宮里校長の式辞、島袋正中・重中頭教育事務所長(代読)、翁長正貞町長、富春治町議会議長らが祝辞をそれぞれ述べました。また、平安期成会長から宮里校長へ記念事業目録贈呈、歴代校長や大口寄付・物品寄贈者等の功労者・団体

に対しての表彰・感謝状贈呈等がありました。児童会長の崎山みずきさんが「みんなが伝統を受け継ぎ、立派な坂田小にしていきたい」と『喜びのことば』を、期成会副会長・嘉手納良三PTA会長が謝辞を述べました。

祝賀会では、坂田小学校校区内の自治会、PTA、職員らによる余興が相次ぎ、創立五十周年を祝いました。

※坂田小学校は、昭和二十一年(一九四六年)四月三十日、西原村立西初等学校として創立、一九九五年(平成七年度)までに四千六百六十四人が卒業しました。現在、児童数八百九十七人。



△全児童が、創立50周年を記念して今年創作された「金太郎ダンス」を披露した。



△このたび全国の国立大学でも2番目の発足となった琉大附属図書館ボランティアと同活動委員会関係者のみなさん。

地域に開かれた図書館をめざして —琉大附属図書館ボランティアが発足—

国立琉球大学付属図書館(比嘉良充館長)では、このたび図書館ボランティア制度を発足させ、十月三十一日前、同館多目的ホールで、同ボランティアの発足式を行いました。

同ボランティアは、生涯学習の一環として付属図書館を利用しようとする一般住民に対し、知識や技能を無償で提供するもの。全国の国立大学

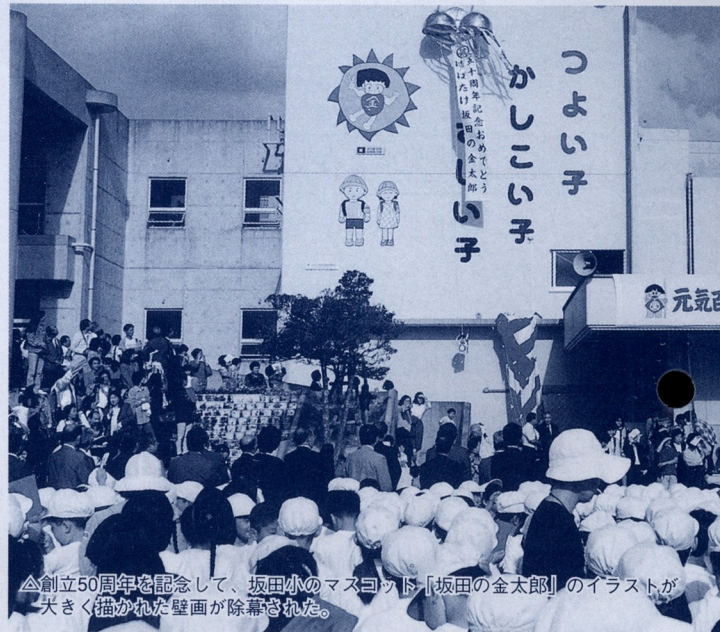
の中で、琉球大学は筑波大学に次いで二番目。今回二十六人(西原町からは四人)が図書館ボランティアとして十一月一日から一年間活動することになりました。ボランティアの活動内容として、沖縄関係資料室及国際資料室の資料の整備、身体に障害をもつ人の利用補助、留学生や外国人研究者への協力、利用者や見学者等への案内などを予定し

ています。発足式であいさつした比嘉館長は「福祉分野中心に捕えられがちだった“ボランティア”という概念が幅広い意味で使われるようになり、また実際にさまざまな分野でボランティアが必要とされている。みなさんのご協力により、利用者の方々の生涯学習のお手伝いができればと思います」と述べました。

引き続き、付属図書館ボランティア活動委員会委員長・平田幸男氏(琉球大学医学部教授・解剖学)から各ボランティアに対しボランティア許可証とネームプレートが手渡されました。また、ボランティアを代表して新田逸子さん(宜野湾市)が「利用者の立場に立って、図書館運営に協力していきたい」とあいさつしました。

大学の図書館というと研究者や学生といった一部の専門家が利用するものといったイメージがあり、「ちよつと敷居が高いな」と利用が敬遠されがちですが、この図書館ボランティアの設置によって、今後は身近な地域の図書館として、もっと一般の方々の利用が増えそうです。

坂田小が



△創立50周年を記念して、坂田小のマスコミ「坂田の金太郎」のイラストが大きく描かれた壁画が除幕された。

坂田小で国際交流

—創立50周年記念事業の一環で—

坂田小学校(宮里憲幸校長)では、9月26日、創立50周年記念事業の一環として県の国際交流員2人を招き、特別授業をしました。

これは、外国人と直接ふれあうことにより、国際感覚と視野を広げ、将来の夢を世界にはせる一助にと、企画されたもので、仲宗根マリアさん(ペルー)とシェーン・ニューベリーさん(ニュージーランド)が講師として招かれました。

特別授業が行われた5年1組と2組では、スペイン語や英語の簡単な日常会話を学びました。また、2人の講師が紹介するそれぞれの国の面積や気候、人口、学校生活や制度、民族、食べ物などの特徴や日本・沖縄との違いを、子どもたちも興味ぶかそうに聞いていました。

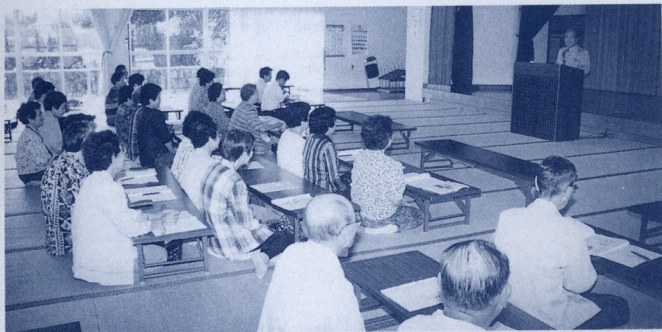
募集

消防50年記念

「21世紀の消防」

論文・映像等
(ビデオ、漫画、イラスト)

(主催:自治体消防50周年記念事業実行委員会
締切:平成9年1月10日(金)(当日消印有効)
あて先:〒105 東京都港区虎ノ門2丁目2番1号
自治体消防庁総務課内
自治体消防50周年記念事業実行委員会 ☎03-5574-0121)



△老いてますます盛ん—様々な内容を学ぶのに意欲的な文教大学生たち。
(「平成8年度 文教大学」から)。

心身共に豊かな老後のために

—平成8年度 文教大学—

町教育委員会と町老人クラブ連合会主催による平成8年度文教大学が、9月19日から11月14日まで9回にわたり開講しました。

文教大学は、各回の学習内容を通して、学ぶ楽しみ、社会参加の喜び、生きがいを高めるなど、高齢者の自己研鑽に役立てようと開かれているもので、おおむね65歳以上の町民を対象としています。

平成8年度は、「美しい装いは身と心で～礼法の基本を学ぶ」、「琉歌に親しむ」、「健康な身体」、「スポーツで身も心もほぐそう」、「県の公共施設を見る」、「小学生との交流事業」、「沖縄の年中行事」、「新町長に聞く町行財政」、「レクリエーション」など多岐にわたる内容を学びました。



△各園の保母さんたちの熱演(?)に、場内也大にぎわい
(「保育まつり あつまれヨンシー広場」から)。

みんなあつまれ! ヨンシー広場だよ～

— 保育まつり —

町保育連絡協議会(＝町保連協、宮城邦子会長)主催による「保育まつり あつまれヨンシー広場」が11月2日午後、町中央公民館で開催され、大勢の子どもたちや親子連れでにぎわいました。

町保連協は、保育事業の充実発展を願い今から6年前に町立保育所や町内の認可保育園の保母や調理員等で結成されました。公民館ホールでは、各園の保母たちが、それぞれ趣向を凝らした舞台発表を行いました。

引き続き、公民館の玄関前で「もちつき」が行われ、慣れない手つきながら、子どもたちやお父さん、お母さんたちが代わる代わるもちをつきました。できあがったもちはその場でふるまわれ、みんなでにこにこおいしくいただきました。

ま
ち
の
話
題



△子どもたちが、からだ全体を使って、元気に発表した
(「第17回小学校児童話・お話し大会」から)。

元気いっぱいに発表!

町PTA連合会(玉那覇康夫会長)主催による第17回小学校児童話・お話し大会と第17回中学校意見発表大会が、11月5日午後、それぞれ西原小学校体育館と西原東中学校体育館で開催されました。

両大会は、児童話・お話しや意見発表をすることで、児童生徒の表現力を高め、情操を磨き、言語を豊かにすることを目的として開かれているもの。最優秀賞受賞者(小学生は4人、中学生は2人)は、11月16日に開かれた中頭地区大会へ町代表として派遣されました。

町内からそれぞれ小学校の部に16人、中学校の部に8人が参加、他の児童生徒や審査員、学校長ら関係者が見つめる中、大きな声で元気いっぱい、お話しや意見発表をしていました。

なお、町代表となった児童生徒は次の通り(敬称略)。

【小学校】《低学年の部》▶女子・中山横子(西原東小学校2年)▶男子・太田裕司(坂田小学校3年)《高学年の部》▶女子・前盛好美(西原小学校5年)▶男子・国仲祥志(坂田小学校5年)
【中学校】▶女子・呉屋沙織(西原中学校3年)▶男子・當山徳二(西原東中学校3年)



△焼香をあげ、御霊を慰め平和への誓いを新たにする遺族たち
(「平成8年度西原町戦没者追悼式」から)。

戦後51年目、これからを見つめて

—平成8年度西原町戦没者追悼式—

平成8年度町戦没者追悼式が、10月25日、字翁長の「西原の塔」で、しめやかに執り行われました。

町内、県内外から遺族や戦友ら約250人が参列し、一人ひとりが焼香をあげ、御霊を慰め平和への誓いを新たにしていました。

式辞の中で翁長正貞町長は「悲惨な沖縄戦の教訓を後世に正しく伝え、「恒久平和を願う町」として、なお一層努力していきます」と述べました。

また、翁長正昌町遺族会会長、富春治町議会議長ら関係団体代表者も追悼のことばをささげました。

町議会が 海上ヘリポート 建設に反対決議

西原町議会(富春治議長)は、十月二十九日に臨時議会を開催し、普天間飛行場返還に伴う海上ヘリポート建設問題で建設反対の要請決議と意見所を全会一致で可決しました。

同議会は、西原町も加盟する中城湾沿岸漁業推進協議会(会長・新川秀清沖縄市長)が、十月二十四日に開いた臨時総会での「海上ヘリポート建設に反対する要請」決議を受けたもの。

また、同協議会に加盟する関係市町村もそれぞれ臨時議会を開いて、建設反対の意見書や要請を決議しました。

中城湾沿岸漁業推進協議会では十一月六日に県や那覇防衛施設局、米軍総領事などを訪問、要請決議文を手渡しました。

町史だより
—No.16—

西原の方言

タナ
バル
棚原編(続)

②

表1 棚原の方言・音声表記

和名	方言名	音声表記
タニシ	ンナグワー	nnagwa=
フナ	ターイユ	ta=ʔiɽu
カタツムリ	チンナン	tʃinnan
カエル	アタビー	ʔatabi=
ネズミ	エンチュ	ʔentʃu
芭蕉	バサウー	basaʔu=
ヨモギ	フーチバー	hu=tʃiba=
ニガウリ	ゴーヤー	go=ʃa=
桃	キームム	ki=mumu
海人草	ナチョーラ	natʃo=ʃa

棚原の伊波ウトさん、比嘉茂子さん、比嘉キヨ子さんからは方言の聞き取りを行いながらいろいろなお話をうかがいました。その中でもこんな話が…。

—ンナグワー(たにし) 食べましたか？

茂子さん：食べましたよー、学校から帰りに田んぼから取ってきて。ターイユ、今のフナ、あれも取ってきてよく油にあげてよく食べよったですよ。

キヨ子さん：前はあれー、畑のチンナン。カタツムリみたいながある。ハルチンナンとって。アジクーター(濃い味)だったよー(笑)。

ウトさん：エンチュ(ネズミ)も食べたし。

キヨ子さん：ほんと何もかも食べましたよ。

茂子さん：アタビー(カエル)なんかもよー、取ってきて油にチャーラミカシテ、おいしかったね。なんにもないもんですからね、こんなして生活し

ていたんですよ。病氣しても昔は氷もないし、熱があっても氷で冷やすものないから、あのーバサウー(芭蕉)です、ね、あれ切って細かく刻んでからに、これで熱とりよったんです。生まれた赤ちゃんにはフーチバー(ヨモギ)をしぼって飲ましょったんですよ。

キヨ子さん：脱脂綿でクチグワー(吸い口)つくって。

茂子さん：ヨモギには胎毒下しとってね、生まれたらこれをあげよったんです。こんなにしてみんな育ってるんですよ。

ウトさん：夏になったら子ども浴びせるときには、ゴーヤー(にがうり)のはっぱ、あれ取ってきて。

茂子さん：あれは今も使っているよ。皮膚病にいいからね、あれで体を洗ったら皮膚病にかからないとか。またキームム(桃)のはっぱね、よく使っているんですよ今の若者

も。袋に詰めてね、お湯かけて。

—ヤマトグチという海人草のことは方言でなんといいますか？

茂子さん：ナチョーラ。これはよく食べましたよ、アギンチュ(海から遠い地域の人)は。年一回、虫下しといって馬肉と炊いて。旧暦四月十五日のムシバレーのときによくナチョーラを食べたんですよ。

—というような動植物の話。それらは食用だけでなく、薬としても使われていたのです。もちろん、部落によって方言名や用途は違ってきます。民間療法で使われた動植物については『西原町史』民俗編の「草根木皮などによる薬物的療法」(五二五頁)や「薬餌」(七八八頁)に記述があります(それによると、フナ、カエルも薬餌となっていた)。また棚原では、薬餌を使うときの御願の願文も唱えられていたようです(『沖縄民俗』第二号)方言で唱えられる願文は、一つの方言作品ともいえます。生活の中の方言は民俗事例の中からもひろい出だすことができますね。

ご存じですか？

郵便による戸籍謄本・抄本の請求

戸籍(除籍)謄本・抄本は『郵送』でも請求できます。

- 1 請求書用紙は役場の窓口にあります。次のことを記入してあれば任意の様式でも差し支えありません。
 - (1) 請求者の住所・氏名・押印(認印でもかまいません)
 - (2) 本籍
 - (3) 筆頭者(戸籍の一番最初に記載されている者)の氏名
 - (4) 請求者の資格(続柄)
 - (5) 抄本のときは、ほしい人の名
 - (6) 請求の通数
- 2 戸籍謄・抄本は1通450円 除籍謄・抄本は1通750円
手数料の納付は現金書留又は郵便小為替を御利用ください。
- 3 返信用封筒及び切手(返信用封筒にはあて名を記入願います。)

なお、請求する戸籍に記載されている者又は配偶者、直系尊属(父母、祖父母)若しくは直系卑属(子、孫)以外の者が請求する場合は、その「使いみち」を具体的に書いてください。

※差し支えなければ連絡先(☎)を記入してください。

◎詳しくは、役場の町民課に(☎098-945-5012)お問い合わせください。

お知らせ
でーびる



案内・募集

12月

一般廃棄物(家庭ごみ) 収集運搬業務委託者の 募集について

1. 募集人員 1名
2. 資格 平成8年10月31日以前に
西原町に住民登録をした者で
引き続き住所を有する者
3. 委託予定日 平成9年4月1日
4. 受付期間 平成8年12月12日(月)～
平成8年12月20日(金)

※詳細については、西原町役場保健衛生課へ
お問い合わせ下さい。TEL 945-5013

【このようなサービスが】
▽各制度ごとの番号で行っていた届出や照会などが基礎年金番号一つで行える

【手続きは】
特別な手続きは必要ありません。あなたの基礎年金番号は平成8年12月にお知らせします。

【基礎年金番号制とは】
一人ひとりの年金加入記録を整理するための番号です。就職や転職などで加入する年金制度が変わっても、一度決まった基礎年金番号はそのまま変わります。

【基礎年金番号制】
そこで、もう一度簡単に「基礎年金番号制」についてお知らせします。

▽各制度を通じて加入記録が把握できるため、年金相談や年金の裁定が迅速・確実にできる
▽退職などで国民年金に加入する際、届出を忘れてしまっても個別にお知らせできる
▽将来的には、年金の加入状況や年金の見込額をお知らせするサービスが提供できるようにする

※「プライバシーの保護」
基礎年金番号は、年金制度の適正な運営、年金サービス向上を図るためのものです。社会保険庁では、年金情報が外部に漏れることのないよう、プライバシー保護のため厳格な情報提供を行うことにしています。また、加入者の方々も年金手帳の取り扱いには十分注意する必要があります。お問い合わせ等は、
町役場 国民健康保険課
国民年金係
☎九四五一四七二九(内一五三)

平成九年一月から 基礎年金番号制スタート

12月27日(金) 御用納め

募集!!

'97おきなわマラソンに参加してみませんか?

- 開催趣旨：おきなわマラソンは、県下唯一の日本陸連公認の競技マラソン部門と一般参加型の市民マラソン部門・高校10キロロードレース部門を併設したマラソン総合イベントで、競技力向上と沖縄県のスポーツ振興に貢献すると共に観光立県を掲げる本県の経済振興に大きく寄与することを目的とする。
- 主 管：おきなわマラソン実行委員会
- 会場・コース：沖縄県総合運動場をスタート・フィニッシュに嘉手納基地を含む周回コース。
日本陸上競技連盟公認（競技）コース 42.195km
- 競技規則：平成8年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の沖縄陸上競技協会申し合わせ事項によるものとする。
- 種 目：競技マラソン部門、市民マラソン部門（同時スタート）高校10kmロードレース（午前9時スタート）
- 国内マラソンの（派遣・招待）について：
 - ◆競技マラソン部門（男子）に限り優勝1名及び沖縄県内1位を北京国際マラソンへ派遣する。
 - ◆市民マラソン部門（各男女）の優勝者1名をハワイコーラウマラソンへ派遣する。
 - ※但し、派遣は完走者本人に限る。
- チームエントリーについて：4名一組のチームエントリーとし、完走者全員の平均タイムで順位を競う。
- 期 日：2月16日（日）・午前8時スタート・午後2時フィニッシュ
開会式：2月15日（土）同会場内体育館
表彰式：2月16日（日）・午前11：00（男子）競技マラソン部門・市民マラソン部門1位から6位まで表彰
・午前11：30（女子）競技マラソン部門・市民マラソン部門1位から6位まで表彰
・午後2：00特別賞の表彰式（・年代別・最高齢者・外国人・チームエントリー賞）
閉会式：午後2時20分 同会場

参加方法

- 受付期間／1996年11月25日（月）～12月15日（日）
- 受付方法／申込書に必要事項記入の上（誓約書に署名・捺印のこと）参加料を添えて現金書留で送付するか（現金書留の場合おきなわマラソン実行委員会事務局以外では受け付けません。）下記受付所で直接申し込む。
尚、申込後の参加料は返却しません。
- 受付場所／お問い合わせ
おきなわマラソン実行委員会事務局
〒904 沖縄県沖縄市諸見里2-1-1 沖縄市営コザ総合運動公園 陸上競技場2階
・でんわ (098) 930-0088 ・ファックス (098) 930-0101
◎琉球新報社 本社事業局 ☎098-865-5253 ◎琉球新報社 中部支社 ☎098-934-6500
◎琉球新報社 浦添支社 ☎098-876-1315 ◎琉球新報社 北部支社 ☎0980-53-3131
- 参 加 料／3,000円（傷害保険料、記念Tシャツ含む）
- 参加資格／国籍問わず、18歳以上（高校生不可）の本大会に正式にエントリーしたナンバーカード通知書をもつ（代理出場不可）健康な男女。但し、競技部門は日本陸連の選手登録者又は、登録予定者に限る。
※高校10キロ（男・女）ロードレースの参加者は学校単位で受け付けます。

お知らせでーびる

ストップ・ザ・飲酒運転 女性の集い

1、趣 旨

この集いは、飲酒運転による交通事故が多発している現在において、飲酒運転の危険性、違法性、責任の重大性等、自他に及ぼす影響をみんなで考え、女性の立場から、家庭から飲酒運転を追放し、交通事故のない安全で住みよい町をめざすことを目的とする。

2、日 時

平成8年12月10日（火）午後7時30分

3、場 所

西原町中央公民館大ホール

4、主 催

西原町女性団体連絡協議会

5、後 援

浦添警察署・浦添地区交通安全協会

西原町交通安全推進協議会・西原町交通安全母の会

6、対 象

西原町女性団体連絡協議会会員及び町民



平成8年度第2回保留地処分の公開抽選について

保留地処分（土地売却）のお知らせ！

那覇広域都市計画事業上原棚原土地区画整理事業の平成8年度第2回保留地処分の公開抽選を平成8年12月21日（土）、午後7時から西原町社会福祉センター（大広間）で行います。抽選参加申込受付期間は、平成8年12月11日（水）から平成8年12月19日（木）迄です。（詳細はチラシをご覧ください。）

※お問い合わせ先 区画整理課（☎945-4415）

12月(DEC.) 行事・祭事予定表

- 1日(日) ○福祉ふれあい運動会(9:00、町民体育館)
- 3日(火) ○クリーン指導員研修会(～4日)
- 4日(水) ○心配ごと相談所開設日
(午後2時から5時、町社会福祉センター内心配ごと相談室、
☎945-3651、毎週水曜日、11日、18日、25日)
- 7日(土) ○生涯学習フェスティバル(～8日、町中央公民館)
- 9日(月) ○3歳児健診(平成5年8月12日～平成5年9月9日生まれ、町社会福祉センター、午後1時30分～午後2時15分)
- 10日(火) ○リハビリ教室(町社会福祉センター内、24日)
○「ストップ・ザ・飲酒運転、女性の集い」
(19:00、町中央公民館)
- 14日(土) ○クリスマス会(西原児童館、西原東児童館)
○「音楽への誘(いざな)い 琉大吹奏楽部コンサート」
(16:00開場、16:30開演、町中央公民館)
- 15日(日) ○リサイクルの日
(資源ごみは決められた時間までに所定のステーションへ)
- 19日(木) ○1歳半健診(平成7年5月15日～平成7年6月19日生まれ、町中央公民館、午後1時30分～午後2時15分)
- 20日(金) ○平成8年度海外移住者子弟研修生修了式並びに関係者謝恩会
(19:00、西原共同福祉施設2階)
- 23日(月) ○天皇誕生日、公休日
- 27日(金) ○御用納め
- 31日(火) ○第5回24時間ソフトボール大会
(12:00～1/1 12:00、西原中学校グラウンド)

1月(JAN.) 行事・祭事予定表

- 1日(水) ○元旦
- 3日(金) ○新春書き初め会(9:00、町民体育館)
- 6日(月) ○御用初め
○心配ごと相談所開設(午後2時から5時、町社会福祉センター
内心配ごと相談室、☎945-3651、毎週水曜日、6日、8日、
16日、22日、29日)
- 12日(日) ○新春トリムマラソン(9:00、西原小学校スタート・ゴール)
- 15日(水) ○成人の日
○平成9年町成人式(14:00、町民体育館)
- (※都合により日程変更もあります。おでかけの際は、予めご確認を。)

現況届は忘れずに 国民年金は口座振替でネ

年金受給者は、年に一回、引き続き年金を受ける権利があることを確認する現況届を社会保険庁に提出することになっています。

現況届の用紙は、誕生月の初めに受給権者あて送付しますので、市区町村長の証明を受けて、その月の末日までに社会保険庁に送付してください。

ただし、年金が裁定されてから一年を経過していない方や年金の全部が支給停止されている方は現況届を提出する必要はありません。

現況届の提出が遅れたり、出し忘れた場合には年金の支払いを一時差し止めることとなりますので、現況届が送付されたら忘れずに提出してください。

なお、差し止められた年金の支払いについてですが、現況届が届いた時点で差し止めは解除され、次の支払い月にまとめて支払われます。

お問い合わせは
町役場国民健康保険課
国民年金係
☎九四五―四七二九(内一五三)

クリスマス・コンサート

主 催：西原町文化協会 洋楽部
出 演：伊江朝明
コールにしはら 他合唱団
場 所：キリスト教短期大学チャペル
日 時：平成8年12月15日(日)
午後3時～午後4時30分
※入場無料(運営協力券500円)

電話の加入権の公売

町税徴収と滞納町税の円滑な解消のため、差し押さえ中の電話加入権の公売を実施します。

公売実施日

平成8年12月19日(木) ※受付14:00～14:30
西原町役場2階大会議室
※印鑑(認印)を持参して下さい。
詳しいことは、西原町役場税務課へ
☎945-4729(内線144)

寄付・香典返し

(ありがたいございました)

- ▽字与那城三百二番地、呉屋マカトさんが、カジマヤー祝を記念して町社会福祉協議会へ五万円、町人材育成会へ五万円、町遺族会へ五万円。
- ▽浦添市屋富祖二丁目十六番地、沖縄なつめろ同好会(会長・仲里富和)が、第五回チャリティーふれあい歌謡ショーの収益金を一般寄付として町社会福祉協議会へ十万円。
- ▽字小那覇七十三番地、玉那覇俊子さんが、カジマヤー祝を記念して町社会福祉協議会へ十万円、町人材育成会へ十万円。
- ▽字呉屋三十五番地、宮平ウトさんが、故夫善徳さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ十万円。
- ▽字兼久二百六十一番地の十六、田仲美智子さんが、故夫康雄さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ十万円。
- ▽字翁長二百二十四番地の二、澤岬米子さん、新垣菊江さん、山城秀子さん姉妹が、故父城間賀味さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ三万円。
- ▽字安室六十八番地、与那城光子さんが、故夫盛助さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ十万円。
- ▽宜野湾市志真志五百七十七番地、新垣悦子さんが、故夫進さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ五万円。